

## 〔Ⅳ〕 本校の教育に対する父兄の評価について

中 野 満 男

昭和56年の1月22日と2月19日に、本校では初めての試みとして高校と中学の「学校説明会」を行った。これは、応募の意向を持つ生徒の父兄に、本校の内容についてできるだけ正確な認識を事前に持って貰って、応募するか否かを決める参考にして頂くという目的で行ったものである。本校は附属学校特有の特色や問題を当然持っているし、一方ではまた国立附属に対する世の通念とはかなり異った独自の性格も持っている。本校が小規模校であることによって生まれる利害得失もあるし、中学から高校への連絡に関連した問題点もある。そのような事柄を、受験生が応募する前に知ることができるようなサービスを行った方がよいではないかという考えからこの説明会は設けられることになった。そして更にこの会における説明の内容の中に、在校生の父兄から本校を眺めての感想や意見を織り込んだら、学校側だけが考えた解説よりも更に客観性が加わってより正確なものになるのではないかという考えに至った。その為に行ったアンケートの結果が、これから記録するものである。

しかしこの種の調査は初めてのことで、父兄が学校に対して持っている感想や意見の在り場所がよく解らないこともあって、質問事項や選択肢をこちらで用意する形ではなく、できるだけ自由に文章で答えて頂くことにした。対象は本校での印象が一番新鮮な中1と高1の父兄をお願いすることにした。父兄に面倒な答え方をお願いする無理を承知の上であり、それを整理集計することの煩雑さや、多様な文章表現に含まれた意味合いを間違いなく読みとることの困難さも覚悟した上でのことである。そこで質問紙の形式は単純に解答欄を次の4つの枠に仕切っただけのものにし、そこに自由に無記名で意見を書いて貰うことにした。

(一) 本校が他の学校と比べてよいと思われる点

(二) 本校が他の学校と比べて不十分だと思われる点

(三) 本校に願書を出す前に知っておけばよかったと思うこと

(四) その他何でもご自由に記入して下さい

このような記入の方法でありながら解答の量は意外に多くて、学校に対する父兄の関心の高さや調査に対

する協力の気持の強さを窺うことができたが、内容においても本校の種々な面での長所や欠陥を具体的に又明確に浮かび上らせるものであって、直接の目的であった説明会の説明内容を肉付けする為に役立つものになったし、同時に又我々の生徒指導や学習指導に対して自信を与えたり反省や改善を求めたりするものであった。

## 解答者と解答数

解答者の子弟の区分 (附—高1の生徒の中で本附属中学を卒業した者 他—その他の中学の卒業者)	中 1		高 1			
	男	女	附	他		
解答を依頼した数(在籍生徒数)	44	46	40	36	17	42
回収された調査用紙の数	39	45	28	24	13	40
(一) についての解答者数	37	45	26	22	11	38
(二) についての解答者数	27	43	20	17	5	33
(三) についての解答者数	9	6	4	3	3	17
(四) についての解答者数	16	12	13	5	6	10

高校生の中の附属中学出身者は、この中では在校期間が最も長く、又中高の連絡を経験している点で何らかの特徴が表われるかも知れないと考えた。

解答の内容は自由な解答形式だから、例えば多くの事柄が箇条書に書かれたものや、1つの文章の中に複数の事柄が含まれたものなどあって一定ではないのでその合計数は解答者数より多くなるがこの表には表わしていない。解答の数は(一)(二)についてが多く、内容も集計的に見れば(三)(四)は(一)(二)の繰り返しに近いので、ここでは(三)(四)については省略する。なお解答者が少数なので表の中の数はずべて実数で表わすことにした。

(一)についての解答(本校の長所として指摘された意見)

A. 校風について	中 1		高 1			
			附		外	
	男	女	男	女	男	女
回収された調査用紙の数	39	45	28	24	13	40
自由さ。おおらかさ。明るさ。人間性の豊かさ。のびやかさ。楽しさと意欲。積極性とゆとりとの調和した性格。	8	13	8	4	1	7
(生徒数が少ないので)先生の目が行き届く。生徒と教師の信頼関係やふれ合いがある。教師が親身になってくれる。家庭的。	16	19	8	5	5	12
交友関係がよい。交友が広がる。友人が好ましい。不良がない。上級生との関係がよい。	1	3	2	5		
合 計	25	35	18	14	6	19

B. 教育方針について

中高一貫であること。	20	21	6	5		
自主的活動を主んずる教育。自主的活動を主んずる行事。個人、個人的能力を生かす。	6	2	5	5	4	3
追いまくられない。成績中心でない。予備校化していない。生活指導が適切	3	7	4	1	1	12
合 計	9	9	9	6	5	15

C. 学習指導について

充実している。先生が熱心。先生がすぐれている。(～が多い、～がいる)。	5	6	3	1	8	
やる気のある生徒はのびる。指導が公平。その他。	4	1	1		1	
合 計	9	7	1	3	1	9

D. 設備環境について

設備がよい	2		3	2	3	
環境がよい	4	6	3	2	4	
合 計	4	8	3	5	2	7

E. その他

経費が安い	1	2		1	4
比較的学力が高い					1
生徒の学力にバラエティーがある。					1
居住区域が広い。			1		
家庭連絡が密	1				

(二)についての解答(本校の短所として指摘された意見)

A. 校風について

だらけ。甘え。自由をはき違えた身勝手			2	1	3
競争心、真剣さ、勉強や勤労の意欲、ファイトの不足。	5	3	2	4	3
中学生が高校生の悪い面も見習う。		1			
高校生が中学生と一緒にいるので幼稚。			1		
言葉遣いが乱暴			1		
合 計	5	4	6	5	6

B. 教育方針について

生徒指導がゆる過ぎる。服装等の規制があいまい。規則違反を注意しない。指導の厳しさが無い。放任的。	2	4	2	2	4	15
部活動に力を入れていない。部活動がお遊び的で真剣でない。スポーツが盛んでない。部活動で中学生が高校生に押されて伸びない。専門の指導者がいない。	12	5	2	4	2	
生徒数が少ないので各部が小人数で不活発。人数に比べて部が多過ぎる。生徒の盾が薄い。	4	5	1			5
対外交流が少い。				1		
役割が多くて忙し過ぎる。						1
合 計	18	14	5	7	6	21

C. 学習指導について

受験指導(対策)が不十分。受験勉強が少ない。	1	5	4	4	3	10
勉強の指導が不十分。宿題が少ない。問題集を使わない。	2		1			
能力の低い者に対する指導が不十分。自主的にやれない子が伸びない。追い立てられないので生徒によってはだめになる。	1		5	1		1
不熱心な先生がいる。	1					1
授業の進み方が早すぎる教科がある。英語の時間が少ない。公立と教科書が違うので受験が心配。	1			1		1
合計	3	8	10	6	3	13

D. 設備環境について

床がはがれている。校舎内が不潔、校舎が古い。教室に時計がない。	2	1		1
---------------------------------	---	---	--	---

E. その他

父兄会が少ない。授業参観がない。				3
附中出身者との融合が難しい。				2
休暇が多い。				1

以上の調査の結果を見る前に、この調査の対象者の中に、本校の附中から附高への進学を、学力不足の為断念せざるを得なかった生徒の父兄の層が含まれていないことを考慮する必要がある。

大きな意見の傾向としては、自主自発的性格の育成を狙いとし、生徒指導や教科、特活、行事等の指導にそれをふまえてゆこうとする本校の教育の特徴、またそれが、明るい人間関係や 楽しい学校の生活 そして好ましい人格の形成にとつながっているということをかかなり多くの父兄が考え、賛成しているが、一方で厳しさの不足や生徒の甘え、真剣さの不足などが指摘されている。受験に対する対策が弱いとする点も一部でこれと関連しているであろう。又、小人数、小規模校の持つ長所として、教師と生徒や生徒同志の好ましい関係が挙げられている反面、部活動の沈滞の原因のかなり大きな部分がここにあるのではないかと観察している。同じ根幹から長所と短所が同時に生まれるように見えるこの問題は、一枚の紙に表があれば裏がある如く 全く相容れない問題であると 言って逃げてはならないが、これを解決する努力は容易ならざるものであろう。本校における生徒指導や教科指導の苦しみも

ここにあるのであって、その一方の長所を最大限に生かしながら、両者を調和させる接点を見つけてゆくことが現在の我々の最大の目標であるし、父兄の期待もそこにあるものと思う。

解答の文章の中にも、同じ人がこの長短を同時に指摘したりして、この問題の難しさや重要性を表わしたのも多かったので、その一部を参考の為に記録させて頂こうと思う。

(一) について……ペーパーテストの成績が生徒の全人格という評価で、無理なおしつけ学習をし、落ちこぼれを作り、差別し、先生に反感を持たせるような教育ではなく、ゆとりのある充実した学習と人間教育が行われている。

(二) について……もっとも勉強を必要とする時期であり、よく吸収する時だから、もっと強制してもよいと思う。受験に落ちこぼれることはやはり残念なことだ。(中1男子の父兄)

(一) について……精神的にのびのびした毎日がよいと思います。

(二) について……本人次第だとは思いますが、このままの学習では進学が心配です。(中1男子の父兄)

(一) について……受験への勉強のみを強制する空気ではないので伸びやかに学んでいます。中学教育は未だそれ程視野を狭くする必要はないので長所と思っています。しかし学力もやはりできるだけ、と思うとその接点をどこに置けばよいか親も子もいつも考えなければならぬことだと感じます。

(中1女子の父兄)

(一) について……(下段の意見と矛盾するのですが) 高校進学の際、受験戦争がないので割と理想的な学校生活が送れると思われる。

(二) について……入学後に“あんな中学に入れるなんて、先々どこを受験するにしてもいい所には行けないよ”という風評を耳にしていきさか後悔したのですが、今の所は割に学習面でも充実していると安心はしています。(中1女子の父兄)

## 本校の教育に対する父兄の評価について

(一) (二) の両枠にまたがって記入

一貫教育による良い面の多さと好評価は、過去のアンケート等に表われているように常々同感、否定出来得ぬものと思う。しかし高学歴重視指向の已然として強い傾向にある社会の現実はやはり意識せざるを得ない。愚かさは理解できても愚かさ打破への努力勇気はむつかしい。一貫教育の好感は、現実の厳しさに不安感となるを禁じ得ない。

(高1 附属中学出身男子の父兄)

(一) について……中高一貫教育で型にはめる事なく伸び伸びと自主性を尊重して教育されること。やる気のある生徒には大変よい学校だと思う。

(二) について……自主性を尊重するため、かなり自由に行動でき、しかも学力的にも均等していないため、生徒がしっかり自覚してやってゆかないとだめになってしまう。(高1 附属中学出身男子の父兄)

(二) について……不十分だとは思いますが長所が即ち短所であるという事、殊に男子の場合は運動の面のマイナスですがマイナス面をプラスにする様な生き方の出来る子供であってほしいと我が子に願っております。(高1 他の中学出身男子の父兄)

(一) について……自由で伸び伸びした校風が感じられ、生徒もぎすぎすしていない。

(二) について……自由をはき違えて規則が乱れやすいのではないのでしょうか。例、女生徒のスカート丈の長さ、パーマなどが大変目につき、指導がなされているのか疑問に思う。

(高1 附属中学出身女子の父兄)

(一) について……六年間の一貫教育の為、 unnecessaryな受験勉強に追われなくてすむのは有り難いと思います。

(二) について……上記の点について親として反面不安は有ります。(高1 附属中学出身女子の父兄)

(二) について……人数が少く、個々の役割分担が多くて忙しい。(順番が廻ってくるという点では長所とも言える。(高1 他の中学出身女子の父兄)

(一) について……教育方針については詰込み主義でなく自由に気ままに、のびのびと教育しているように見受けられ、豊かな人間教育に大きな役割りを果たしていてよいと思う。

(二) について……のびのびした自由な教育方針の反面、将来の大学受験に不安も残るので、多少の詰込み主義や受験勉強の推進がほしいと思う。

(高1 他の中学出身女子の父兄)